

2026 年度 京都大学 前期 日本史

I

A

- (1) 応仁の乱(応仁・文明の乱) (2) 相国寺 (3) 山城の国一揆 (4) 嘉吉の変
(5) 大内氏掟書(大内家壁書) (6) 足利義視 (7) 一条兼良

B

- (8) 手賀沼 (9) 南鐐 (10) 八 (11) 寛永通宝 (12) 秤量貨幣 (13) 大目付

C

- (14)(あ) 婦人参政権獲得期成同盟会 (い) 加藤高明
(15)(あ) 学制 (い) 6 年間 (16) 職業婦人 (17) ※解なし (18) 1946 年

II

- ア 一大率 イ 狗奴 ウ 白村江 エ 近江大津 オ 富本銭 カ 平城
キ 嵯峨 ク 文鏡秘府論 ケ 大友義鎮(宗麟) コ 天正遣欧
サ 家持 シ 町法(町掟・町式目) ス 桂離宮 セ 数寄屋 ソ 水俣 タ 勝
チ 中曽根康弘 ツ 電電(日本電信電話) テ MSA ト PKO 協力

III

A

- ア 新井白石 イ 日本国大君(殿下) ウ 貝原益軒 エ 錦絵(浮世絵)
(1) 主君(主家)に対する忠と親(父祖)に対する孝 (2) 武家諸法度
(3) 武断主義から文治主義へ (4) 保科正之 (5) 林子平 (6) お蔭参り(御蔭参り)

B

- オ 太政 カ 山県有朋 キ 帝国議会
(7) 大隈重信 (8) 国会期成同盟 (9) 内務 (10)(あ) 伊藤博文 (い) ロシア
(11) 台湾銀行 (12) 後藤象二郎

C

- ク 松方正義 ケ 地租改正 コ 農地改革 サ 敗戦(降伏) シ 引揚げ ス 高度経済成長
(13) 自らの耕作地を持たない (14) 西南戦争 (15) ①
(16) 農村から都市へ

IV

(1)

摂関政治は 10 世紀後半から 11 世紀後半まで続き、摂政・関白は律令官制の枠組みのなかで天皇と共同で政治を進めた。摂政は幼少の天皇の政務を代行し、関白は成人した天皇を後見し、ともに天皇の外戚となり身内として権力を握った。摂政・関白は官吏任免権を掌握し、受領などの地位を与えることで中・下級貴族を私的奉仕させた。公卿は儀式・年中行事などの政務を分担したが、重要政務は陣定で合議して天皇または摂政の裁可を受けた。(200 字)

2026 年度 京都大学 前期 日本史

(2)

荘園公領制のもとで経済は発達した。荘園・公領では二毛作や自給肥料などの技術の発達により農業生産力は拡大した。交通の要地では輸送業者である問丸が活動し、生産物は年貢として荘園領主のいる都市に集まっていた。地方では定期市が発達し、京・鎌倉などの都市部では常設店舗である見世棚が営まれた。宋銭が大量に輸入されて年貢の代銭納が行われると、換金された生産物は商品として流通し、遠隔地取引では為替の利用が進んだ。(200 字)